ふくしま Fan Club

ふくしまの多彩な情報を発信

会報
Vol.56
2020年12月発行



Interview

“高校生びいき”から始まった新しいコミュニティづくり



CONTENTS

何度でも「来て！」ふくしま
北塩原村を巡る旅

つながるふくしま
地域交流型
ワーケーションモデルツアー

学べる福島
あすびと福島

ふくめし
ハバネロ味噌

Brand New ふくしま
ふくいろピアス

Special Interview
FUN CLUB
スペシャル
インタビュー

“高校生びいき”から始まった新しいコミュニティづくり

福島を思い、県内外をつなぐ人を紹介するスペシャルインタビュー。
今回は、白河市でカフェやゲストハウスなどを運営し、若者たちの交流の場を生み出す
一般社団法人未来の準備室の青砥和希（あおとかずき）さんをご紹介します。



Q カフェを作った経緯を教えてください。

A 白河市は大学がなく、地元の高校生は卒業と同時に白河市から離れてしまう人がほとんどです。私も都内の大学に進学しました。大学1年生のときに震災が起きて故郷に想いを巡らせましたが、地元との繋がりや知識が足りないことに気付いたんです。自分のように大人になってから実家以外に繋がりがないのは寂しいと感じ、高校生が地域との繋がりを持てる場所を作ろうと思いました。そのためには簡単にできる共通の体験が必要だと感じ、一緒に高校生のための場所ならば高校生と一緒に作ろうと思い、カフェ改修の参加募集チラシを配布。共感してくれた高校生たちと一緒にカフェを作りました。

Q 高校生たちとカフェでどんなことをしているのですか？

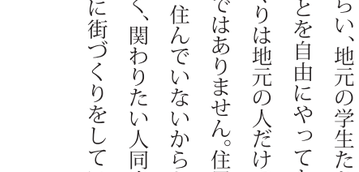
A 「ヨリミチ」という、地元の魅力を紹介するフリーペーパーを作っています。企画から取材まですべて高校生が行い、私たちスタッフは助言のみ。この活動で地域の魅力を県内外に発信しています。また、このカフェに通っていた高校生が大学生となり、他県出身の友人を紹介してくれるので、オンライントークで大学生による高校生の進路相談も行っています。

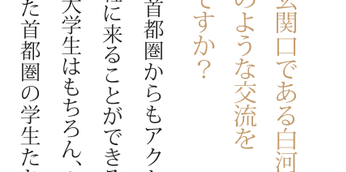
Q 県外の大学生を受け入れる短期滞在型プログラムも行っていると伺いましたが、どういった内容なのでしょうか？

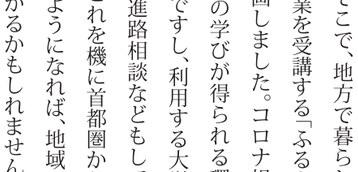
A 新型感染症の影響で現在も多くの大学生はキャンパスへ行けず、オンライン授業を受けています。オンライン授業はインターネット環境があればどこでも受講可能です。そこで、地方で暮らしながらオンライン授業を受講する「ふるさとキャンパス」を企画しました。コロナ禍であってもリアルでの学びが得られる環境を提供したかったですし、利用する大学生には高校生向けに進路相談などもしてもらいたいですね。これを機に首都圏から多くの学生が訪れるようになれば、地域への将来的な移住に繋がるかもしれません。

Q 東北の玄関口である白河市で、今後どのような交流をしたいですか？

A 白河市は首都圏からもアクセスしやすく、気軽に来ることができる場所。白河市出身の大学生はもちろん、さまざまな視点を持った首都圏の学生たちにも白河市へ来てもらい、地元の学生たちと一緒にやりたいことを自由にやってもらいたいです。街づくりは地元の人だけで作ることだけが正解ではありません。住民票がそこにないから、住んでいないからといった理由に関係なく、関わりたい人同士で力を合わせて一緒に街づくりをしていきたいですね。


コワーキングスペースにはこだわりの福島県型テーブルも。


共同スペースが綺麗に整えられたゲストハウス「blanc」。


カフェ店内の椅子やテーブルなどもなんとお手製！

Special Interview PROFILE



青砥 和希さん

福島県矢祭町出身。一般社団法人「未来の準備室」理事長。2016年に白河市の高校生たちと一緒に古民家をリノベーションしたコミュニティ・カフェ「EMANON」を立ち上げる。現在はカフェ経営のほか、ゲストハウス「blanc」、コワーキングスペース「ナカマチ24」の管理人も務める。



コミュニティ・カフェ EMANON（エマノン）



2016年3月にオープンした高校生のためのカフェ。高校生は無料でフロアを利用できるほか、メニュー料金にも学割が設定されている。
福島県白河市本町9
☎0248-57-4067

ゲストハウス blanc（ブラン）



小峰城の麓にあるゲストハウス。同じビルには青砥さんが管理するコワーキングスペース「ナカマチ24」もある。
福島県白河市中町24-2 新駒ビル3F
☎080-9159-1156

Try to stop by Fukushima

何度でも「来て!」
ふくしま

北塩原村

磐梯山の麓にあり、周辺には五色沼や桧原湖などの美しい湖沼群が広がります。夏は登山、冬はスキーやワカサギ釣りでにぎわう人気の観光地です。

定番スポットのほかにも多彩な魅力がある福島県。これから行く方も訪れたことのある方も、ぜひ少し足を延ばしてみてください。新たな発見があるふくしまで、これまで見過ごしていた感動に気づく旅を楽しんでみませんか?

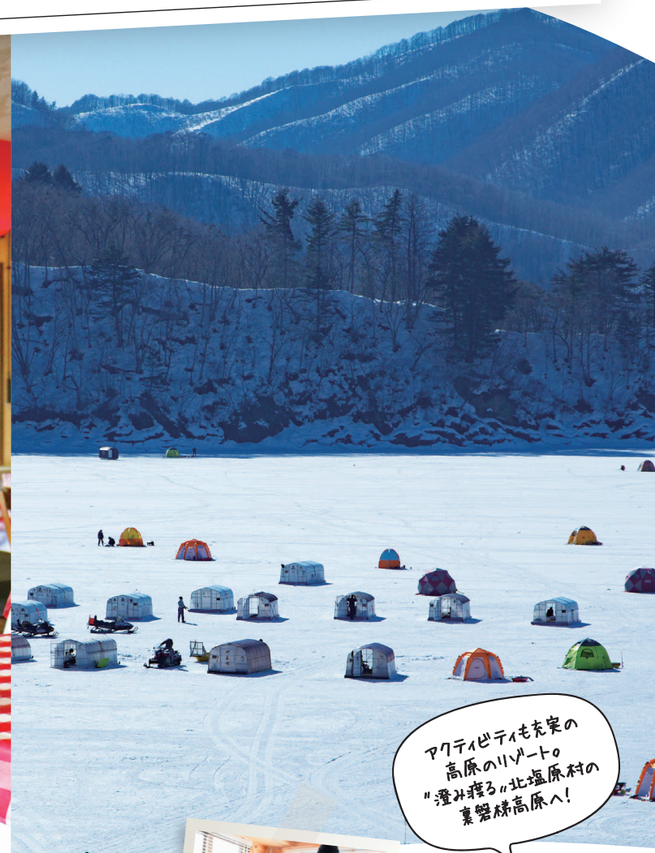
日常の彼方 雄大な自然と戯れる。

裏磐梯高原に広がる山々と湖沼群が織りなす神秘的な景観。美しい島々が浮かぶ桧原湖で冬の風物詩となっているのがワカサギ釣りです。寒さが厳しくなり湖面の氷が厚さを増すと、色鮮やかなテントが氷上を彩り、早朝からたくさんの人たちが訪れます。絶品イタリアンとして知られる「イルレガーロ」は、遠方からもたくさんのファンが通うリストランテ。チーズ、オイルなどイタリアから取り寄せた食材と、無農薬野菜をはじめとするこだわりの食材が絶妙な美味しさを奏でます。「ネイチャースキー体験」は、手つかずの大自然とふれあえるアクティビティ。冬の森林を歩きながら、動物の足跡や野鳥などの観察が楽しめます。心地いい汗を思う存分流したら、会津山塩の原料でもある源泉の湧く大塩裏磐梯温泉「塩姫の宿 観山(かんざん)」へ。ミネラルたっぷりの温泉は、冷えた体を芯からぽかぽかと温めてくれます。この冬、日常を離れ、裏磐梯の自然や食を満喫すれば、心が澄み渡っていきます。











アクティビティも充実の高原のリゾート。"湿み寝る"北塩原村の裏磐梯高原へ!



Try to stop by 04

塩姫の宿 観山(かんざん)

せせらぎが心潤す山あいの田舎宿。

北塩原村の特産品である「会津山塩」の原料となっている温泉を源泉に持つ湯宿。大塩川のせせらぎに耳を傾けながら渓流露天風呂に浸かり、滋味あふれる郷土料理をじっくりと堪能できます。ふくしまファンクラブカードの提示で、会津の地酒1本(1合)かソフトドリンク1本をサービス。

問 ホテル観山 0241-33-2233　所 北塩原村大塩裏磐梯温泉

Try to stop by 03

ネイチャースキー体験

歩いて、滑って、雪原をハイキング。

雪原を自由に動き回れるネイチャースキーを体験できます。地元の自然を知り尽くしたガイドと一緒に歩いたり滑ったり、ハイキング気分で雄大な自然とのふれあいを楽しめます。豊富なツアーコースを楽しむことができるほか、スキーが初めての方向けのレッスンも受講可能なので、初心者でも安心です。

問 もくもく自然塾ガイドセンター 0241-23-9018　所 北塩原村桧原小野川原1092-38

Try to stop by 02

ホテル&リストランテ イルレガーロ

地元民も通う"高原のイタリアン"。

五色沼入口に立つ、北欧風の外観が目を引くリストランテ。高原のイタリアンをテーマに、シェフ自ら育てる野菜をはじめ、こだわりの食材で作るパスタやピザを求めて地元民も通います。ふくしまファンクラブカードの提示で、お食事された方またはご宿泊された方にワンドリンクをサービス。

問 ホテル&リストランテ イルレガーロ　0241-37-1855
所 北塩原村桧原剣ヶ峯1093

Try to stop by 01

桧原湖

裏磐梯最大の湖でワカサギ釣り。

1888年に起きた磐梯山の噴火によりできた、裏磐梯の湖沼群の中で一番大きい湖。季節に応じてさまざまなアクティビティを楽しむことができます。11月～12月はドーム船や屋形船で、1月中旬～3月下旬は氷上ハウスなどで、ワカサギ釣りを気軽に体験できます。釣り具のレンタルもあります。

問 裏磐梯観光協会 0241-32-2349　所 北塩原村桧原湖



東日本大震災からの復興を目指し、再生可能エネルギーの拡大に取り組む福島県。津波により大きな被害を受けたエリアの一つである南相馬市では、県内最大のメガソーラー群が稼働し、環境にやさしい電力を生み出しています。

これらの復興事業に先駆けて2013年4月に設立したのが、人材育成を志す「あすびと福島」。施設では、再生可能エネルギー発電の仕組みをオリジナル装置で体験できます。近隣の風力発電所の見学を通し、エネルギーについての理解を深め自ら考える場を提供しています。小中学校や高校の総合学習の一環として子どもたちを受け入れているほか、一般の見学も可能です。

MANA 学べる福島 FUKU

家族みんなで体験しながら楽しく学べる福島をピックアップ！

あすびと福島
再生可能エネルギーの体験学習

体験できる場所はこちら

あすびと福島

平日は学校の授業の一環で再生可能エネルギーについて体験できるほか、週末には独自企画の体験も可能です。

問 一般社団法人「あすびと福島」
所 南相馬市原町区泉字前向15

ご見学・体験学習に関するお問い合わせ
問 0244-26-5623
MAIL：info@asubito.or.jp

あすびと福島 検索



＜センターハウス＞
子どもたちの体験や一般の見学を受け入れる中心施設。



＜独自企画＞
球型ロボットのプログラミングなど独自企画も開催します。



＜水力発電＞
水の力と手動の力を比較しながら学べる「水力発電研究」も。



＜階段型フロア＞
高校生や大学生を対象とした、階段型フロアを利用したワークショップも開催。



＜発表場面＞
体験を通して感じたことを発表する場を設け、主体的な学習を行います。



＜巨大コンセント＞
あすびと福島のシンボルになっているオブジェ。

あすびと福島



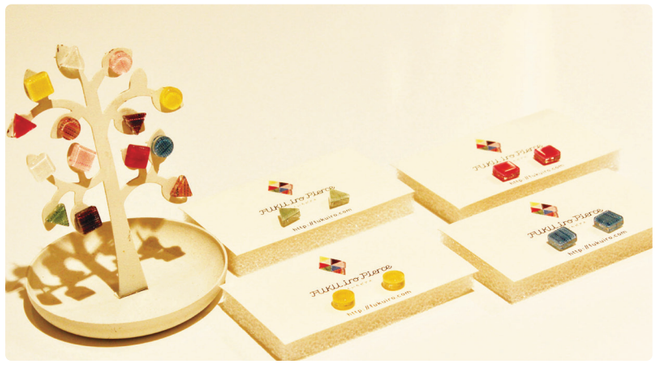
ネックレス、ブレスレット、ピアスの3種類を展開する「HITOTOKI」。世界一薄い川俣シルクを、天然の水晶の輝きが優しく包みます。

ネットショップのほか東京駅など各地の日本百貨店でも購入可能。



2020年の9月、郡山市にオープンしたセレクトショップ。スタッフが直接買い付けた、選りすぐりの商品が並びます。

問 女子の暮らしの研究所（うすい百貨店2階）
090-2880-8230
女子の暮らしの研究所 検索



Brand New ふくしま
福島のものづくり



スタッフ 小野 美乃 さん
（おの よしの）

ふくいろピアス

震災の翌年、女性たちが本音で話し合える居場所を作ろうと立ち上がった女子の暮らしの研究所。商品を手にとってもらうことで、福島について考えるきっかけになれば、と会社の立ち上げと同時に生まれたのが、福島の伝統工芸品・会津木綿を使ったふくいろピアスです。

福島の女性が抱えるさまざまな思いを、8色の会津木綿それぞれに「いろのはなし」というストーリーをもたせて表現しました。一見同じように見えても、色や風合いがそれぞれ微妙に異なっているので、見比べて自分のお気に入りを見つける楽しみも。また○や△や□の形には「みんなちがってみんないい」という思いも込められています。

震災から間もなく10年。ふくいろピアスのさりげない輝きは、今日も誰かの心をそっとやさしく照らしています。

いわき編

主催：福島県
ふくしま 地域 交流型！
LIFE with FUKUSHIMA

ワーケーション モデルツアー
Workation Model Tour





第3弾 いわき編 2021 1/23(土)・24(日)

福島県内のコワーキングスペースを体験し「いわき」の地域課題をプロジェクト化しよう！

地域のキーパーソンとともにその解決策を探る1泊2日の地域交流型ワーケーションモデルツアーを開催します。いわき編では、2つの団体を訪問し、課題解決に向けたワークショップを行います。地域のキーパーソンから生の声を聞き、課題解決に向けたワークショップをコワーキングスペースで体験します。

MISSION 課題
「耕作放棄地から生まれたオーガニックコットンの可能性」と「いわき郷土芸能の継承」について考える。

自家栽培のオーガニックコットンの活用と、いわき伝統芸能「じゃんがら念仏踊り」の次世代への継承について、地域のキーパーソンらと交流しながらそれぞれの課題を解決するためのプロジェクト化に取り組んでいただきます。

旅行代金	お一人様 5,000円（相部屋となります）	参加対象者	福島県外在住の方
日数	1泊2日	出発地	いわき駅
出発日	2021年1月23日（土）※1泊2日	目的地	福島県いわきエリア
集合時間	11:00（集合場所：いわき駅南口ミスタードーナツ前）	交通	いわき駅前~目的地がバスとなります ・いわき駅まで各自お集まりください。 ・郡山中央交通（株）（※1）
宿泊	ゲストハウス&ラウンジ ファロ（※1）		

◎詳しい旅行条件を説明した書類をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、お申込みください。 ◎最少催行人数1名 ◎食事は朝食1回、昼食0回、夕食1回 ◎宿泊は、男女別で相部屋になります。 ◎客室にはバス・トイレはついておりません。（お客様によってはトイレつきの客室となる場合がありますが指定はできません。） ◎添乗員は同行しません。現地スタッフが対応します。
※1）ホテル・交通手段に関して手配が困難となった場合、それと同等クラスのホテル・交通手段を提供いたします。

お申込みはHPから
lf-fukushima.com
MAIL:info@lf-fukushima.com

HP、Facebookで情報更新中!!
Facebookページ @lf.fukushima

※2021年1月30日（土）～31日（日）には相双エリアでのモデルツアー実施を予定しています。詳しくはHPをご覧ください。

ふくめし Fukumeshi Recipe

ハバネロ味噌

玉ねぎのシャキシャキ食感とマヨネーズの酸味がハバネロ味噌と相性抜群です。ハバネロ味噌とポテトサラダを自分好みに和えながら、辛さの調整ができるのが嬉しい！ やみつきになる辛～い旨～い美味しさを楽しめる一品です。

ふくめしレシピ
ハバネロ味噌のやみつきポテトサラダ

材料（2人分）
- ハバネロ味噌…… お好みの量
- じゃがいも（中）…… 2個
- 玉ねぎ…… 1/4個
- ゆで玉子…… 1/2個
- マヨネーズ…… 大さじ4
- 塩、こしょう…… 少々
- ドライパセリ（飾り）… 少々

つくり方
1. 玉ねぎを縦に薄切りにしたら軽く塩（分量外）を振り、10分程置く。しんなりしたら水洗いし、絞ってキッチンペーパー等でしっかり水気をとる。
2. ゆで玉子をみじん切りにする。
3. じゃがいもは洗って皮付きのまま鍋に入れ、かぶるくらいの水を注ぐ。沸騰したら中火にし、20分程柔らかくなるまで茹でる。熱いうちに皮をむいたらボウルに入れ、木べら等で潰す。
4. ③に①の玉ねぎ、塩、こしょう、マヨネーズを入れ、全体に混ぜ合わせる。
5. 器に④を盛り付け、②のゆで玉子とハバネロ味噌をバランス良くのせ、ドライパセリを振る。





平田村産のハバネロをはじめ、矢祭町産のシイタケ、青唐辛子、青しそ、国産豚肉などを使用したおかず味噌。ご飯のお供としてはもちろん、料理の隠し味にも最適です。

ご購入はこちらから
問 しばさくらの里 道の駅ひらた
0247-55-3501 道の駅ひらた 検索



ふくしまファンクラブ会員限定

Instagram 投稿キャンペーン第2弾!!

キャンペーン期間

2020年12月28日(月)～2021年1月31日(日)23時59分まで

ハッシュタグ「#ふくしまファンクラブ」を付けて、あなたの好きなふくしまを投稿しよう!



〈投稿例〉

参加方法

1. スマートフォンやパソコンで、インスタグラムのアプリをダウンロード
2. ご自身のアカウントでハッシュタグ「#ふくしまファンクラブ」をフォロー!
   ※ハッシュタグ「#ふくしまファンクラブ」をフォローすることで、ほかの会員様が投稿したふくしまの魅力を共有することができます!
3. ハッシュタグ「#ふくしまファンクラブ」を付け、投稿内容に対するコメント、会員番号、商品の希望(A・B・Cいずれか)を添えて福島県を観光した様子、県内の風景、県産品などの写真を投稿する。

(当選発表等)●当選者の発表は、2021年2月中旬を予定しています。当選通知をもって発表にかえさせていただきます。※当選者にはインスタグラムアカウントのダイレクトメッセージ機能で通知いたします。●当選者は、発表時にハッシュタグ「#ふくしまファンクラブ」をフォローしている方に限ります。●通知後、1週間以内に返信がない場合、受賞は無効となります。●プレゼントの発送は、2021年2月下旬～3月上旬を予定しています。●ハッシュタグ「#ふくしまファンクラブ」に投稿された写真やコメントは、会報誌に掲載させていただく場合がございます。
詳しくは、ふくしまファンクラブホームページをご覧ください。

プレゼント内容

期間内に
ご投稿いただいた方の中から、
抽選で50名様に
A～Cいずれかが当たる!



A ふぶき亭 喜多方ラーメン6食入


B スパリゾートハワイアンズ いわき湯本ハワイアンズの湯


C バウムラボ樹楽里 ごえんバウム4個入セット

※上記プレゼントはいずれもふくしまファンクラブ協賛店の取扱商品です。

都内開催 参加無料

ふくしまファンクラブ会員交流会

スマホで写真撮影が苦手な方!!
SNSが好きな方!!参加者募集中

SNS映え 写真ワークショップ

参加者にはお土産として「ままどおる(5個入)」をプレゼント!

喜多方市在住のフリーカメラマンでありインフルエンサーでもある、ひさみつまゆみさんをゲストに迎え、スマートフォンでできる「SNS映え写真ワークショップ」を行います。

参加希望の方は、右記宛先までEメール、ハガキ、電話、FAXのいずれかで①住所 ②氏名 ③年齢 ④当日連絡が取れる電話番号をご連絡の上「交流会参加希望」と書いてお申込みください。福島ゆかりのお土産もご用意して、皆さまのご参加をお待ちしています!

※ご参加の際は、新型感染症拡大防止対策(マスクの着用、消毒等)に御理解・御協力をお願いします。

2020年度 第2回会員交流会

●日　時：2021年2月13日(土)14:00～17:00(受付13:30～)
●人　数：20名(応募多数の場合は抽選し、当選結果をご連絡いたします。)
●参加費：無料
●会　場：いいオフィス上野
　東京都台東区小島2-20-11
●参加条件：ふくしまファンクラブ会員 スマートフォンをご持参いただける方
　※ご家族でお申込みいただく場合は、お一人のみ会員であれば対象となります。
●申込締切：2021年1月29日(金)必着

参加申込先

Eメール ffc.interact@gmail.com
ハガキ 〒963-8032
福島県郡山市下亀田17-7
「ふくしまファンクラブ交流会」係(株式会社ルー・プロジェ内)
電　話 024-935-0800　FAX 024-900-3666

会津のインフルエンサーに学ぼう!



ゲスト ひさみつまゆみさん

会津若松市出身、喜多方市在住のフリーカメラマン。会津若松市公式SNSアンバサダー。会津の自然や人物などを撮影し、SNSを通じて会津の魅力を発信している。Facebook、Twitter、Instagramのフォロワー数は合わせて2万人以上いるインフルエンサー。

ふくしまファンクラブ会員対象 WEBアンケートのご案内

今後のふくしまファンクラブのサービス向上のため、WEBアンケートを実施します。右記QRコードを読み込んでアンケートフォームにアクセスいただき、ご回答ください。先着1,100名様にもれなく「里山のつぶ(2合)」をプレゼントします!



先着1,100名様へプレゼント!
里山のつぶ(2合)
※パッケージはイメージです。

アンケート回答はこちらから
URL:https://fukushima-fanclub.net
回答期限
2021年1月31日(日)

※アンケートのご回答は、お一人様1回となります。
※個別に当選の有無にはお答えできかねますので、ご了承ください。

(お願い)インターネットをご利用いただける方は、「利便性向上」や「環境保全」の観点からスマート(メール)会員への移行をお勧めしています。Web版の会報誌をご案内させていただくほか、毎月のメルマガにより旬な情報を得ることができます。(会報誌の発送は無くなります。)
移行希望の方は f.fanclub@pref.fukushima.lg.jp までご連絡ください。

編集・発行　ふくしまファンクラブ事務局　2020年12月発行
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 福島県地域振興課
TEL:024-521-8023　FAX:024-521-7912

ふくしまファンクラブ　検索